

**1. 案件名 (国名)**

国名：フィリピン共和国

案件名：ミンダナオ島南部地域回廊補修事業 (Southern Mindanao Economic Corridor Rehabilitation Project)

**2. 事業の背景と必要性****(1) ミンダナオ島における運輸交通セクターの開発実績 (現状) と課題**

ミンダナオ島は、国内他地域と比較して経済発展が遅れているが、同島最大都市であり島外へのゲートウェイでもあるダバオ市と、第二の都市ジェネラルサントス市とを結ぶ幹線道路 (約 117km) は、紛争終結後の経済回復の牽引役として期待されている島内最大級の経済圏における大動脈としての役割を担っている。特に、ジェネラルサントス市が属するリージョン XII は同国農水産業の最大の拠点であるが、市内に近代的な国際港を持たないため、農産物の大部分が、大規模な港湾施設が整備されているダバオ港から輸出され、同島の代表的な輸出品目である農産物の主要輸出港となっている。また、同市周辺の日系企業も農産物及び工業製品の輸出にダバオ港を用いており、ダバオ市-ジェネラルサントス市間の幹線道路は、これら農水産物や工業製品を輸送するための重要な物流インフラとなっている。しかしながら、当該幹線道路は 1960 年代以降に整備された後は現在まで補修されないままとなっているため、老朽化が顕著であるだけでなく、片側一車線であるために輸送時間が長時間化している。そのため、輸送途中に農産物や工業製品が破損し廃棄ロスが発生するなど輸送コストの押し上げにつながっている。

**(2) ミンダナオ島における運輸交通セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性**

当国政府の「フィリピン開発計画」(2011~2016年)では、運輸セクターの主要課題の一つとして、老朽化した道路の補修による輸送時間の短縮と経済活動の活発化を挙げている。特に、地域開発計画においては、過積載や交通量の増加に伴い現状の道路規格では対応できないとの指摘とともに、農水産業を中心とするミンダナオ島の経済成長の牽引力となりえる地域間の連結の強化の必要性が提起されている。また、同国政府は、同島の経済発展を後押しするために、農水産業の振興とともに同島へのインフラ投資を積極化する方針を掲げており、その一環としてダバオとその他主要都市の連結を強化する戦略を打ち出している。公共事業道路省 (DPWH) は、我が国が策定に協力した高規格道路網開発マスタープラン (2010年7月)において、ダバオ-ジェネラルサントスを結ぶ幹線道路の補修・拡幅等を行うミンダナオ島南部地域回廊補修事業 (以下、「本事業」という。)を優先事業の一つとして位置づけている。

**(3) 当国における運輸交通セクターに対する我が国の援助方針**

対フィリピン国別援助方針 (2012年4月)における重点目標として「投資環境改善を通じた持続的経済成長」を定め、具体的には地方拠点開発に向けたインフラ整備プログラムを支援することとしている。

**(4) 他の援助機関の対応**

ADB は、国別パートナーシップ戦略 (2011-2016)において、都市交通網を含む既存の道路網の維持改善への支援を重視することとしており、新たにダバオ市内を中心とした公共交通網の整備事業の実施を予定している。また、IFC は、フィリピンを含む東アジア・大洋州地域における戦略として民間主導による開発への支援を重視することとしており、ダバオ港の民営化に関するアドバイザリー業務を検討している。また、世界銀行は、国別支援戦略 (2010-2012)において、貧困層にとって重要性が高い農業セクターへの投資環境の強化を支援することとしており、「ミンダナオ農村開発プロジェクト」において主要都市とその周辺の農村地帯とを結ぶ農村道路の整備を支援中である。その他の援助機関のミンダナオ島支援は紛争影響地域の復興や貧困削減が中心である。

**3. 事業概要****(1) 事業の目的**

本事業は、タグム市からジェネラルサントス市以南の地域を含むミンダナオ島南部地域回廊のうち、ダバオー-ジェネラ

ルサントス両都市間の幹線道路を補修・拡幅等することにより、ミンダナオ島最大級の経済圏内の物流改善、経済活動の活発化と投資促進を図り、もってミンダナオ島の経済発展に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：

南東部ミンダナオ(ダバオ-ジェネラルサントス間、約 117km)

(3) 事業概要：

- 1) 土木工事：道路補修・拡幅、
- 2) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

(4) 事業実施体制

事業実施機関：公共事業道路省（Department of Public Works and Highways：DPWH）

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発：

1) 環境社会配慮：

①カテゴリ分類：A

②カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる道路セクターに該当するため。

2) 貧困削減促進：ダバオ-ジェネラルサントス間の物流・交通機能の強化により、周辺地域の住民の雇用環境等の改善等による生活水準の向上が想定される。 ※協力準備調査にて確認

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：特になし

(7) その他特記事項：ミンダナオ島は当国他地域と比較してコスト競争力のある人件費を背景に日系企業の進出先として期待されている。また、同地域の輸送コストの低減を通じた経済活動の活発化に資する本事業は、進出日本企業の経済活動の効率化及び活性化にも資するものである。

#### 4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

フィリピン「コルディレラ幹線道路整備事業」の事後評価結果等から、維持管理業務の主体である DPWH の地域事務所において、維持管理予算及び人員が十分に確保されていない状況が伺われたことから、維持管理のための適切な人員配置と予算の増額が望ましいとの指摘がなされている。

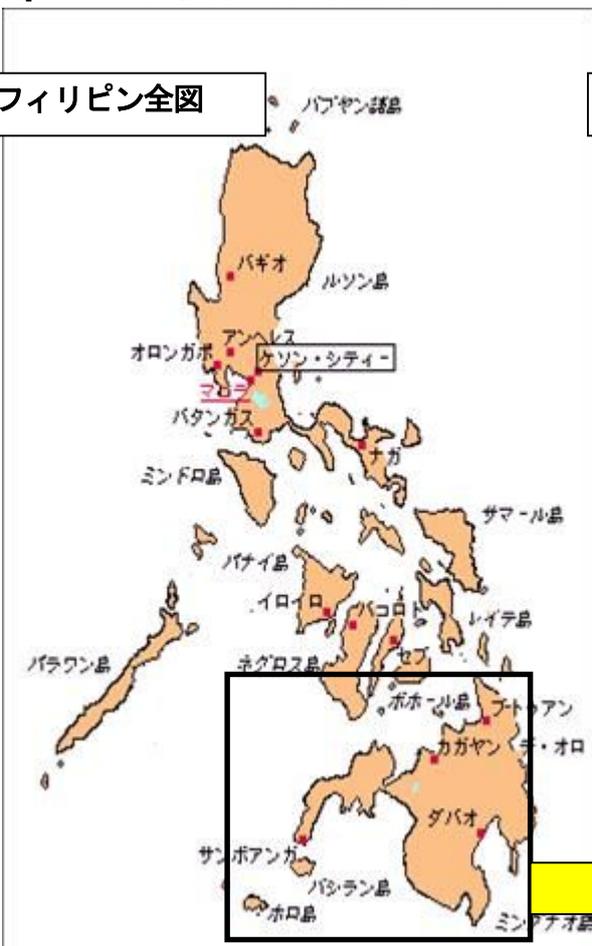
(2) 本事業への教訓：

本事業でも、DPWH の地域事務所が完成後の道路の維持管理を担うことが想定されることから、DPWH の地域事務所における維持管理業務に係る人員及び予算の配置・配分に係る計画の適正性を確認する。

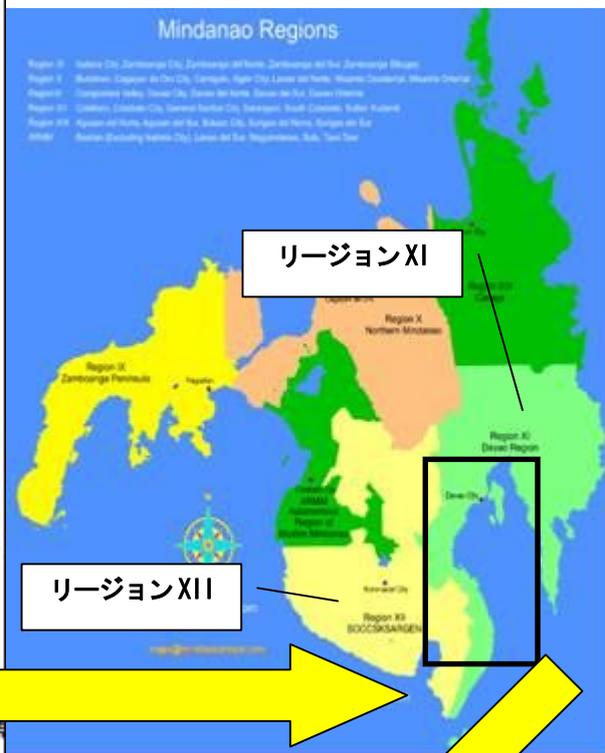
[別添資料] 地図

以上

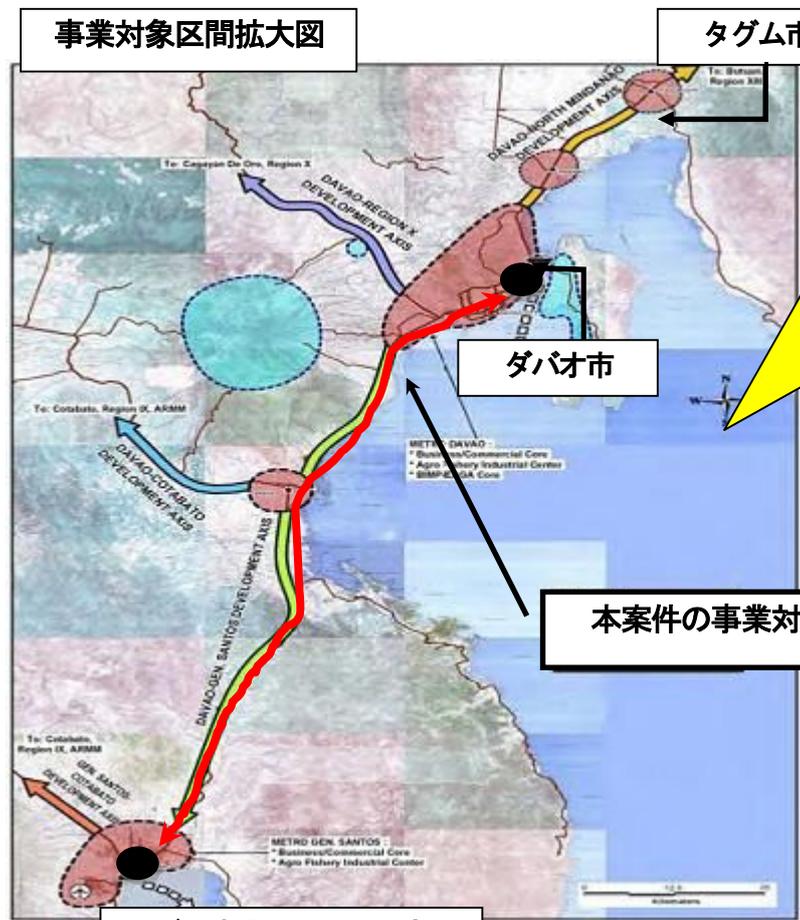
フィリピン全図



ミンダナオ島拡大図



事業対象区間拡大図



タグム市

ダバオ市

本案件の事業対象として想定される区間

ジェネラルサントス市